

3331 ART FAIRオーディエンス・プライズ レコメンドアーティスト結果発表

オーディエンス・プライズ

3331 ART FAIR 2021に来場頂いたお客様を対象に、オーディエンス・プライズ（来場者投票）を実施しました。
上位15名の結果を発表します。（順不同）

○hiromi [GALLERY AND LINKS 81] (Galleries-1F)

五嶋 穂波 [ファーストパトロネージュプログラム 2021 ver5. 秋] (B104)

兼子 真一 [CREATIVE SPACE HAYASHI] (Galleries-1F)

二藤 建人 [3331 Arts Chiyoda 推薦作家] (Selection-GYM)

奥天 昌樹 [GALLERY HAYASHI + ART BRIDGE] (Galleries-1F)

柳 哲也 [TRI-FOLD OSAKA (アトリエ三月 / サロンモザイク / gekitin.)] (Galleries-1F)

簗輪 孝治 [ファーストパトロネージュプログラム 2021 ver5. 秋] (B104)

葛西 由香 [ギャラリー門馬] (Galleries-1F)

吉田 花子 [Gallery Q] (Galleries-1F)

古谷 葵 [タマプロ] (Galleries-1F)

今西 泰赴 [山本 浩貴 推薦作家] (Selection-GYM)

小林 勇輝 [西田編集長 推薦作家] (Selection-GYM)

竹田 一紀 [羊画廊] (Galleries-1F)

傍嶋 賢 [SOBASUTA 合同会社] (Galleries-1F)

森田 明日香 [秋田公立美術大学] (Selection-GYM)

3331 ART FAIR レコメンド・アーティスト

各プライズの結果を踏まえ、アーツ千代田 3331による厳正なる検討の結果、2名の若手作家が3331 ART FAIR レコメンドアーティストに選出されました。選ばれたアーティストには、3331 Gallery (アーツ千代田 3331 1F 108) での個展開催の機会が授与されます。会期等の詳細が決まり次第、アーツ千代田 3331のウェブサイト等でご案内して参ります。



盛 圭太 Keita Mori

2018年の国立新美術館での「Domani- 明日」展に登場して以降注目を集める盛圭太は、糸を駆使してドローイングを制作します。この素材・技法によって得られるテクスチャーが、支持体に物質を「貼る」ためにドローイングとして特徴的なものになることは言うまでもないのですが、さらに踏み込んで着目すべきは、まず糸が「張力」を得ることで極めて「直線」の精度が高まること。ほぼ平行に糸が無数に配置される部分より一層の強烈な疾走感が提示されます。さらに、その線の集積がひとつひとつの形をシャープにし、その形が関係し合っただけで複雑な三次元性を構築していきます。(ex-chamber museum 推薦文より)



金子未弥 Miya Kaneko

金子未弥が描くのは都市の肖像だ。日常生活に存在する道路標識などのサインを、都市の中に空いたヴォイド空間でインスタレーションを行う大規模な作品から、対話式のコミュニケーションの中で生み出される「地図」のシリーズまで、金子は都市を貪欲なまでに自身の中に吸収し、新しい世界を創造していく。後者のシリーズでは、金子との対話で人は自身の持つ都市の記憶やイメージを語り、金子は地理的な束縛とは一切無縁にひとつひとつ画面上に都市の名を置いていく。点として存在する無数の都市の名はやがて金子の手によって線につながれ麻の葉模様のように画面に浮かび上がり、これまで見たことのない都市の地図が眼前に現れるのである。人の記憶は曖昧でバラバラだ。その状況を当然のものとして作品の中に記録していく金子は、もしかすると現在における人の記憶の語り部なのかもしれない。(アーツ千代田 3331 推薦文より)